

成果の説明書

(氏名) 関口 智子	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 教育</p> <p>① 両学部英語カリキュラム一元化 2 年目</p> <p>2018 年度は、前年度に経済学部・地域政策学部の両学部が一元化された英語カリキュラムが 2 年目を迎え完成した。一年生英語必修科目 GE (General English) I/II、BE (Business English) I /II に加え、二年生の 英語必修科目 GE (General English) III/IV、BE (Business English) III/IV が開講された。</p> <p>初年度の 2017 年度より、GE I/II のクラスで共通テストとして CST (Common Speaking Test) を導入している。初年度は、CST の手順書および評価基準の作成、CST のデモ用ビデオの録画、CST のサンプルスピーチの録音を行ったが、2018 年度は GE III/IV でも CST を実施するため、それに合わせて手順書の改定を行った。また、新たに開講の GE III/IV でも CST を実施するため、昨年度同様、担当教員対象のワークショップを実施した。</p> <p>② 2018 年度振り返りの教員連絡会開催</p> <p>年度末に、PDCA サイクルの一環として、新カリキュラムに関して担当教員を対象にアンケートを実施した。アンケート結果を集約し、後期終了後 2 月初旬に、2018 年度振り返りのための教員連絡会で結果を共有した。毎年 3 月初旬に次年度に向けての教員連絡会を実施しているが、振り返りのための連絡会は今回初めてである。コースおよびレベル別の小グループのセッションにより、担当教員と忌憚のない意見交換を行うことができた。</p> <p>(2) 研究</p> <p>出版論文： 「英語冠詞における最新の動向」 『マテシス・ユニヴェルサリス』第 20 巻第 1 号、pp.237~pp.252、2018 年 10 月 獨協大学外国語学部言語文化学科</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>通訳コンテスト出場に向けた指導</p> <p>毎年 11 月末から 12 月初旬に「学生通訳コンテスト」を開催している名古屋外国語大学より、本年度もコンテストの推薦枠 (1 名) をもらい、本学の学生 1 名を推薦した。2018 年度は、11 月 24 日 (土) 開催で、テーマは「AI と人間社会に与える影響」であった。医学、芸術、政治、経済、軍事、教育など様々な分野で AI が与える影響について、事前に内容をリサーチし、語彙リストを作成するなど、授業外で個別指導を行った。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>英語カリキュラム一元化から 2 年が経ち、さらなるカリキュラム向上のために、直面している課題に取り組んでいく必要がある。当面の課題としては、必修英語の 1 年次および 2 年次に使用するプレイスメントテストを検討し、できれば来年度開始時の導入を目指すことである。</p>	